

新潟産業大学附属柏崎研究所

第8回柏崎学シンポジウム

「外とのヒト・モノ・コトの つながりをつくる！を考える」

—人口減少に対応する創造的な地域活動の視点（第3弾）—

日時 令和7年11月30日（日）
13時00分～16時30分

場所 新潟産業大学 202教室

主催 新潟産業大学附属柏崎研究所

後援

柏崎市、刈羽村、出雲崎町、新潟県柏崎地域振興局、柏崎商工会議所、柏崎市商工会、
（一社）柏崎青年会議所、柏崎市コミュニティ推進協議会、株式会社新潟日報社、
株式会社柏崎日報社、株式会社柏崎コミュニティ放送 他

プログラム

- 13:01 開会挨拶 梅比良眞史（新潟産業大学学長）
- 13:06 ビデオメッセージ 柏崎市長 櫻井雅浩 様
- 13:11 趣旨説明 住吉廣行（新潟産業大学附属柏崎研究所長、副学長）
- 13:17 第1部 地域からの活動報告

「地域内の先駆的事例から外とのつながりを考える！」

○報告者

- ・中村圭希 氏 （連合東京青年委員会雪国ボランティア受入事務局長）
- ・橋本紫乃 氏 （陽の楽家（ひかりのらくや）店長）
- ・朽堀佳倫 氏 （株式会社越後みそ西専務取締役）
- ・中村 奨 氏 （株式会社ハク代表取締役、バンビー店長&シェフ）

コメンテーター 片岡直樹、蓮池薫（新潟産業大学附属柏崎研究所委員、教授）

－休憩－（10分）

- 14:52 第2部 専門家からの提案及び意見交換

「専門的な知見から外とのつながりを考える！」

○ゲスト

- ・鈴木輝隆 氏（立正大学研究推進・社会貢献センター チーフプロデューサー）
- ・岩佐十良 氏（株式会社自遊人代表取締役、株式会社IMD 代表取締役）

司会・進行 春日俊雄（新潟産業大学附属柏崎研究所主席研究員）

- 16:24 閉会挨拶 住吉廣行（新潟産業大学附属柏崎研究所長、副学長）
- 16:30 終了

第 1 部 地域からの活動報告
「地域内の先駆的事例から外とのつながりを考える！」
—地域からの活動報告 報告者 略歴—

中村 圭希 （なかむら けいき）

連合東京青年委員会雪国ボランティア受入事務局長

- 1954 年 8 月 刈羽郡高柳町門出 生まれ（現在 71 歳）
1975 年 10 月 高柳町役場に入職。
2013 年 3 月 柏崎市役所を退職。
狐の夜祭前実行委員長を務める。
2013 年 仲間とともに「門出・田代べとプロジェクト」を発足、活動継続中。
2015 年 Web 写真集「緑の惑星 たかやなぎ ふるさとの詩」発表。
ふるさと高柳の原風景や四季折々の風景に多くの賞賛の声があがった。
2017 年 6 月 仲間とともに「NPO じょんのび研究所」を立ち上げ、その後
「NPO 法人里山夢もっこ」に改変、活動継続中。

橋本 紫乃 （はしもと しの）

陽の樂家（ひかりのらくや）店長

- 1994 年 新潟県新発田市生まれ。
2018 年 東京家政大学家政学部栄養学科を卒業し栄養士免許取得及び食品衛生
管理者任用資格修了。食という入り口から、食文化や暮らし、農など
に関心が広がり、日本各地の農家へ通うように。
一般社団法人 農山漁村文化協会入社し、九州・沖縄支部及び東北支部
に勤務。
2021 年 10 月 柏崎市高柳町に移住して荻ノ島かやぶきの宿で研修。
2022 年 9 月 夫の橋本和明氏と共に「カフェ陽の樂家」をオープンして共に店長を
務める。
2024 年～ 10 月より荻ノ島かやぶきの宿の中心的な担い手として活躍。

第 1 部 地域からの活動報告
「地域内の先駆的事例から外とのつながりを考える！」
—地域からの活動報告 報告者 略歴—

朽堀 佳倫 （とちぼり かりん）

株式会社越後みそ西専務取締役／みそソムリエ／移住コンシェルジュ

- 1978 年 柏崎市生まれ
- 2015 年～ 創業以来約 200 年の長きにわたり、味噌・醤油を中心とした醸造品を生産する老舗の専務取締役に就任。全国でも数少ない木桶仕込みによる味噌づくりを行い、地域の食文化を未来につなぐ取り組みを進めている。
- 2022 年～ 柏崎市移住・定住推進パートナーチームのサブリーダーとして、市内外と地域の魅力を結びつけ、人とのご縁を育む活動にも携わっている。

中村 奨 （なかむら しょう）

株式会社ハク代表取締役

- 1993 年 柏崎市生まれ（現 32 歳）
柏崎総合高校を卒業後、新潟市の調理師専門学校へ進学。
- 2014 年 専門学校卒業後すぐに柏崎へ戻り、母親の花屋に併設するカフェで料理を提供。
- 2017 年 野菜ソムリエ資格を取得。
- 2020 年 「THERE IS NOEND」個人事業主として開業（JA 直売所 愛菜館内）
- 2021 年 「THERE IS NO2ND」柏崎市役所新庁舎売店の運営をプロポーザルの結果、受託開始。
- 2023 年 「株式会社ハク」設立（法人化）代表取締役
「柏崎ぎおん祭り 海の大花火大会における弁当業務」柏崎市のプロポーザルの結果、受託開始。
- 2024 年 「柏崎総合病院健診センター」「メジカルセンター」の人間ドッグに伴う弁当業務の受託開始。
柏崎駅仲商商店街のレストラン「バンビー」の「立ち上げ及び店長業務」の受託開始。

第 1 部 地域からの活動報告
「地域内の先駆的事例から外とのつながりを考える！」
—コメンテーター 略歴—

片岡 直樹 （かたおか なおき）

1961 年東京都中野区生まれ。

早稲田大学第一文学部史学科美術史専修卒業

早稲田大学大学院文学研究科修士課程芸術学（美術史）専攻修了

早稲田大学大学院文学研究科博士後期課程芸術学（美術史）専攻
単位取得満期退学 博士（文学）

1997 年 4 月 新潟産業大学人文学部助教授

2007 年 4 月 〃 人文学部教授

2008 年 4 月 〃 産業システム学部教授

2009 年 4 月 〃 経済学部教授（現在に至る）

専門分野：東洋・日本美術史

蓮池 薫 （はすいけ かおる）

1957 年柏崎市生まれ

中央大学法学部法律学科卒業

新潟大学大学院現代社会文化研究科社会文化論専攻博士前期課程修了 修士（文学）

2005 年 4 月 新潟産業大学嘱託職員

2008 年 4 月 〃 国際センター専任講師

2009 年 4 月 〃 経済学部専任講師

2013 年 4 月 〃 経済学部准教授

2023 年 4 月 〃 経済学部特任教授（現在に至る）

専門分野：韓国語、朝鮮・韓国文化

第2部 専門家からの提案及び意見交換 「専門的な知見から外とのつながりを考える！」 —ゲスト 略歴—

鈴木 輝隆 （すずき てるたか）

立正大学研究推進・社会貢献センター チーフプロデューサー

1949 年名古屋市生まれ。北海道大学農学部を卒業。神戸市役所、山梨県庁、総合研究開発機構、江戸川大学を経て現在、立正大学研究推進・社会貢献課チーフプロデューサー、東川町魅力創造アドバイザー、ローカルデザイン研究所 BEENS 代表、江戸川大学名誉教授。

各地の地域づくりに関わり、北海道ニセコ町・東川町、秋田県乳頭温泉「鶴の湯」、長野県小布施町、山梨県甲州市、高知県四万十ドラマ等々全国に地域づくりのネットワークを構築し、住民力や地域資源を活かすため、デザイナー、建築家、研究者、企業などをつなぎ、人間の生きる環境をより良くするために、地域の文化力や経済力を高める活動をしている。

岩佐 十良 （いわさ とおる）

株式会社自遊人 代表取締役

株式会社小柳 代表取締役

自遊人編集長

クリエイティブディレクター・編集者

1967 年、東京・池袋生まれ。武蔵野美術大学在学中の 1989 年に起業。2000 年、雑誌『自遊人』創刊、2004 年、新潟・南魚沼に移住。2014 年、新潟・大沢山温泉に開業した『里山十帖』が「グッドデザイン賞 BEST100」受賞。2017 年、『Forbes JAPAN』「地方を変えるキーマン 55 人」選出。2016 年から 5 年間、グッドデザイン賞審査委員。武蔵野美術大学客員教授、多摩美術大学客員教授。

第2部 専門家からの提案及び意見交換
「専門的な知見から外とのつながりを考える！」
—司会・進行 略歴—

春日 俊雄 （かすが としお）

近畿大学農学部農学科卒業（1951年生まれ）

1976年 新潟県刈羽郡高柳町役場、柏崎市役所（2011年迄）

2017年 〃 経済学部専任講師（2022年迄）

2018年 〃 附属柏崎研究所長（2022年迄）

2020年 〃 地域連携センター長（2022年迄）

2023年 〃 客員講師、附属柏崎研究所主席研究員（現在に至る）

2003年 観光庁観光カリスマ認定（現在に至る）

2007年 地域活性化伝道師認定（現在に至る）

2024年 新潟県ふるさと保全対策委員会委員長（現在に至る）

関連資料

第1部 地域活動報告者 資料 (敬称略)

- ・ 中村 圭希 (連合東京青年委員会雪国ボランティア受入事務局長) … 8
- ・ 橋本 紫乃 (陽の楽家 店長) …12
- ・ 朽堀 佳倫 (株式会社 越後みそ西専務取締役) …15
- ・ 中村 奨 (株式会社 ハク代表取締役 バンビー店長&シェフ) …25

地域活動 掲載記事

- ・ 春日 俊雄 (新潟産業大学附属柏崎研究所 主席研究員) …33
柏崎日報 新春特大号 2025年1月1日号
【地域活動の視点】「人口減少の中でも幸せ感を育む」を考える



1

連合東京の雪国ボランティア

- 1994 「連合東京」結成5周年事業として
社会貢献活動を決定
- 1995.2 連合新潟が仲介
連合東京青年委員会
第1回雪国ボランティアが32人参加で実施
↓
行政（町・市）と連携して現在まで継続

2

40年前の出来事

- 1993 門出集落で「水曜会」誕生
○過疎は地方だけでは解決しない
（1955年 人口10,000人⇒1993年人口4,000人）
○都会と交流を ⇒狭山市の朝市に参加
↓
1985～5年間 西武百貨店の「101村展」に参加
→活動団体の連携
（「同じ釜の飯を食う」経験）

3

地域の将来を考える

- 1988～1989 「高柳町ふるさと開発協議会」
○40人以上の若手町民メンバー（地域活動の中核）
○安達生恒先生他多彩な指導者
○200回以上の分科会・全大会・町民フォーラム
○「住んでよし訪れてよし」の町づくり報告書
・地域でしっかり暮らす
・農林業や生活体験を交流の手段に
・つどいの里づくりとして交流や体験の施設整備を

4

施設整備と誘客交流イベント

1989～

- ・狐の夜祭り
- ・雪まつり「YOU・悠・遊」
- ・秋祭り

1990～

- ・門出かやぶきの里
- ・じょんのび村
- ・荻ノ島かやぶきの里
- ・こども自然王国

5

狐の夜祭り



じょんのび村

6

地域では

○門出和紙工房のお客と研修生

○門出かやぶきの里を拠点とした体験・交流の受入れ

- ・千葉英和高校YH部合宿（40年以上）
- ・新渡戸文化小学校（東京・板橋区）の合宿（30年以上）

⇒来訪者受入れのハードルを下げる（心の壁）

⇒地域への刺激、山里の景観・文化・生活への評価

7

千葉英和高校YH部OBとの交流会



新渡戸文化小学校の合宿

8

雪国ボランティアの歩み

1995. 2 第1回雪国ボランティアの受入れ
 1997. 4 荻ノ島に「連合東京交流田」開設
 5 連合東京と高柳町で「ふれあい交流協定」締結
 1998. 1 OB会「連合東京じょんのび会」発足
 2004. 9 10周年記念事業としてじょんのび村に
 「けやき」を植樹
 (2005.5 柏崎市と合併)
 2016. 6 柏崎市と「ふるさと交流協定」を締結
 2026. 2 第32回を実施予定

9

雪国ボランティア 活動の内容

- 1日目 お昼過ぎ到着 かんじき作り
 夜 全体交流会
 2日目 午前・午後とも雪掘り作業（5～7集落）
 夜 受入れ集落ごとに交流会
 3日目 午前 笹団子づくり・酒蔵見学
 昼食後 帰京

コロナ禍以降は1泊2日に

10



かんじき作り



スノーダンプによる雪掘り作業

11

雪国ボランティアを振り返る

- 雪掘りが喜ばれる
- 若い人達の活動で、地域が明るく
- 雪国の生活へのリスペクト
- 青年委員会 産別・企業別（単組）役員の交流
 - 交流会で飲みすぎで2日目の作業困難
 - かんじき作成・装着、スノーダンプでの作業等苦労も
 - 小雪時の対応に苦慮→雪原散策・地域住民との食事会
 - 受入れ地域の拡大と人送手段が課題

12

体験→交流→関係→そして移住

◎長い経験と地域での他の活動と合わせて
「ウェルカム」の雰囲気

- 農業後継者の確保・育成（直接支払等）
- 農業体験の積極受入れ（Work Rice）
→新たな取り組みへ
- 若干の移住者

ご清聴ありがとうございました



1

橋本紫乃 (はしもとしの)

1995年新潟県新発田市出身

上京し、大学では栄養学を専攻

食という入り口から、食文化や暮らし、農などに関心が広がり、日本各地の農家へ通うように。

農業系出版社就職。本の営業・取材で九州や東北を転々とする。

そんな生活をしつつ、地に足ついた暮らしをする

農村の生き方に触れて

このままではダメだと、退職。

2021年、夫が先に移住していた荻の島に、結婚を機に移住。

2022年9月にカフェ陽の楽家オープン

2023年 長女誕生



現在

高柳という地で、暮らしと稼ぎをつくっていききたい。

2歳の娘を育てつつ、カフェ・かやぶきの宿の運営をしていけるよう模索中
季節仕事を普通にこなせるばあちゃんになることが夢

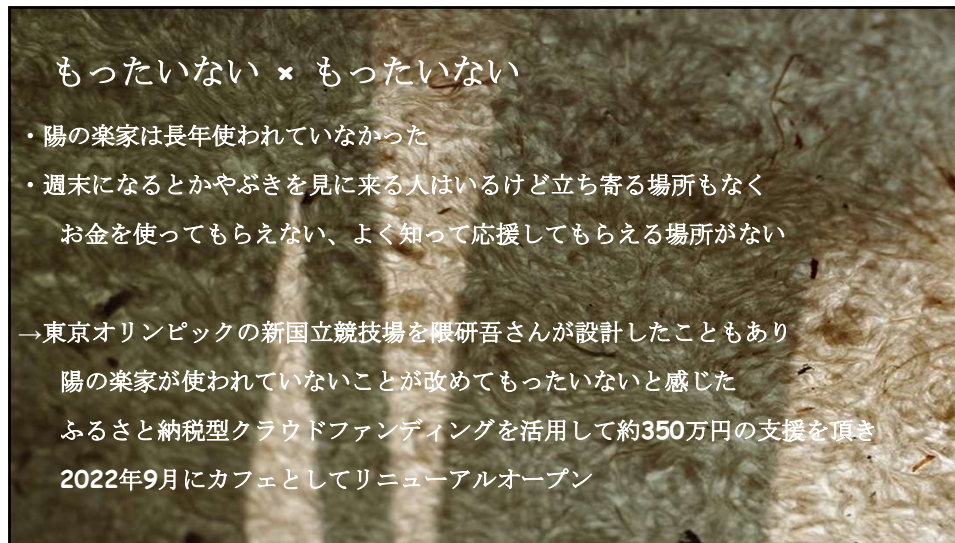
2



3



4



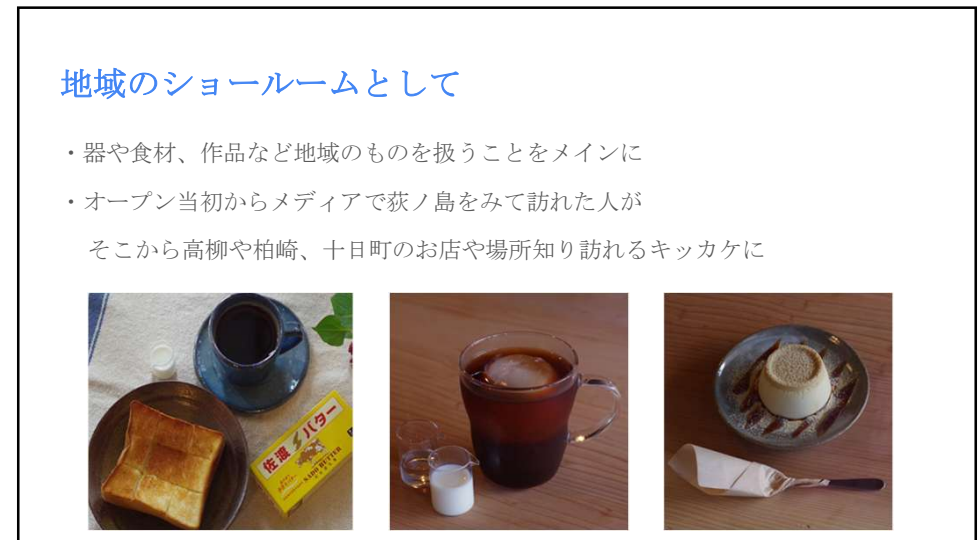
5



6



7



8

- ・県内市外の方が多い印象
- ・こども自然王国と合わせてくる家族層、娘に会いに来てくださる親戚のような方
- ・毎年この季節に来る、という方
- ・カフェから、宿を知り宿泊へ
- ・句会、定期的な茶話会にカフェを利用
もともとの目的、コミュニティのための施設といふ意味合いが再構築
- ・地域の方の接待の場
親戚が来た時に使う、感覚的には応接間？



9

あり続けることが目標

- ・意外とみんな地域の「すごい」を知らない
大学で地域を出るとそこまで知らない、今年は県道崩落も 11/28 開通
- ・敷居を低く、地域の入り口としてあり続けることが目標
- ・少しずつカフェにもお客さんがついてきて、宿のお客さんも増えてきた
- ・いずれは文化に（映画会やイベント開催もしていきたい）
- ・茅葺き修繕、補修で人を巻き込みたい
- ・子育てしながら働くための工夫
- ・物販や演奏、チャレンジしたい人を募集しています



10

ありがとうございました。
ぜひ、のんびり休みに萩の島へ

11

柏崎の食文化を担い、 柏崎に縁をつなげる

越後みそ西の歩み・柏崎市移住定住施策について

令和7(2025)年11月30日(日)

柏崎市移住・定住推進パートナーチームサブリーダー
株式会社越後みそ西 専務取締役 朽堀佳倫

1

自己紹介

- 1978年 柏崎生まれ。
高校卒業後、美術大学で工業製品
デザインを学ぶ。
- 2008年 姉の出産を機に帰郷し、西本町店
にて接客とネットショップ業務を担当。
- 2014年 みそソムリエ資格を取得し、味噌の
専門知識を深める。
- 2015年 (株)越後みそ西 専務取締役に就任。

デザインの視点を活かしながら、伝統の木桶仕込み味噌
を次世代へ届ける役割を担っている。



2

越後みそ西

創業 1831年(天保2年)
設立 1999年(平成11年)

本社製造: 柏崎市新道
店舗: 柏崎市西本町、弥彦村



3

越後みそ西になるまで

江戸後期の生業は
北前船の回漕店として...



4

創業～明治

1831年(天保2年) 醤油醸造業を創業

1887年(明治20年)
新し屋が本家に入り醸造を引継ぐ
西巻時太郎



第5代柏崎町長
新花町建設
日石本社
大久保製油所建設

1890年頃の店舗



5

大正～昭和初期

1916年(大正5年) 西巻進四郎が継ぐ(9代目)
中村葉月とともに、郷土誌『柏崎』を刊行



1922年(大正11年) 商標登録

6

大正～昭和初期

1929年(昭和4年) 柏崎町長就任
新潟県会議員を歴任
柏崎の上水道を完工

1932年(昭和9年) タカラパン設立

1939年(昭和14年)
東京第一ホテルのシェフを招き
洋食業へ進出



7

戦後の昭和

1959年(昭和39年)
西巻醤油店から
にしまきへ改名

西巻達一郎



8

戦後の昭和



9

越後みそ西 設立

1999年(平成11年) 越後みそ西 設立



10

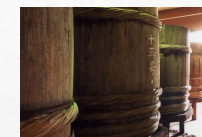
主要製品



三階節みそ	(田舎、糀、特選、黄沢糀、極上 等)
醤油	(千代紫、ヤマヒラ、たからあじ、かつぶし入り 等)
味噌漬け	(大根、茄子、胡瓜、メロン他 計14種)
あまさけ	(プレーン、ゆず)
塩こうじたれ	その他

11

三階節みそ



田舎／糀／特撰



極上生みそ



黄沢糀みそ



12

三階節みそ



柏崎の民謡流し『三階節』に由来

13

取り組む思い

食は地域のアイデンティティに
つながる！

地域で育まれる発酵食品を
「柏崎の食文化」として
未来につなぎたい！全国に発信したい！！

14

【経営理念】

会 社 越後 みそ 西

越後みそ西とは 郷土の“たから”を未来に伝える 会社である。

郷土の“たから”とは柏崎の風土そのものと、そこに育みたいのちであり
また、それらを最良の状態で生かすために、辛苦をいとわず、自然の働きに寄り添い、
永年研鑽されてきた知恵と心である。

それら根幹となることを見つめながら
新しい風を常に取り入れ、変化し続けることで、
郷土の恵みを多くの人と分かち合い、
次の世代につないでいくことを使命とする。

15

越後みそ西の取り組み

16

工場見学



地元小学校や中学校などの工場見学対応

17

みそ造り教室・みそ玉作りWS



地域コミュニティセンターなどでみそ造り教室やみそ玉づくりワークショップ

18

地元小・中学校での講話



地元企業としての紹介やみそについての講話

19

地元メーカーとのコラボ



みそドーナツ

みそあん

みそおこし

地域の菓子メーカー様とのコラボ

20

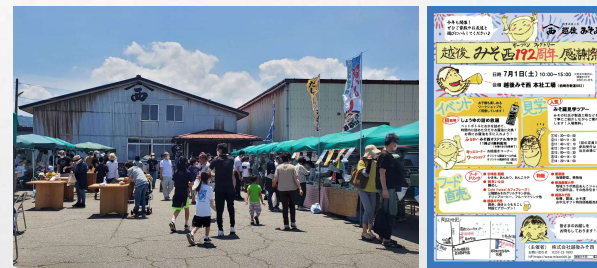
地元飲食店とのコラボ



地元ラーメン店様とのコラボ

21

オープンファクトリー感謝祭



2023年の感謝祭には新潟産業大学の皆様にもご参加いただきました。

22

柏崎市の移住定住施策の活動について

23

柏崎市移住・定住推進パートナーチーム



柏崎市移住・定住推進パートナーチーム 施策 提案書

～住む人来る人の満足度が高く最高に熱いまちへ～

掲載：(2022)年9月30日(第1版)

24

パートナーチームの活動目的

1. 移住者の生活環境の改善 2. 移住者の生活環境の改善 3. 移住者の生活環境の改善 4. 移住者の生活環境の改善 5. 移住者の生活環境の改善 6. 移住者の生活環境の改善 7. 移住者の生活環境の改善

— 目的 —

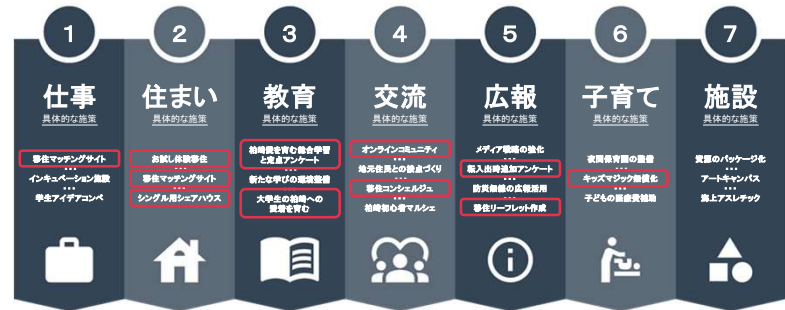
市民の暮らしに対する満足度を高めながら
移住・定住の推進により
人口減少の流れを緩和すること。

25

提案した7つの施策群と進捗状況

1. 移住者の生活環境の改善 2. 移住者の生活環境の改善 3. 移住者の生活環境の改善 4. 移住者の生活環境の改善 5. 移住者の生活環境の改善 6. 移住者の生活環境の改善 7. 移住者の生活環境の改善

7つの施策群 Seven's Urban Policies



26

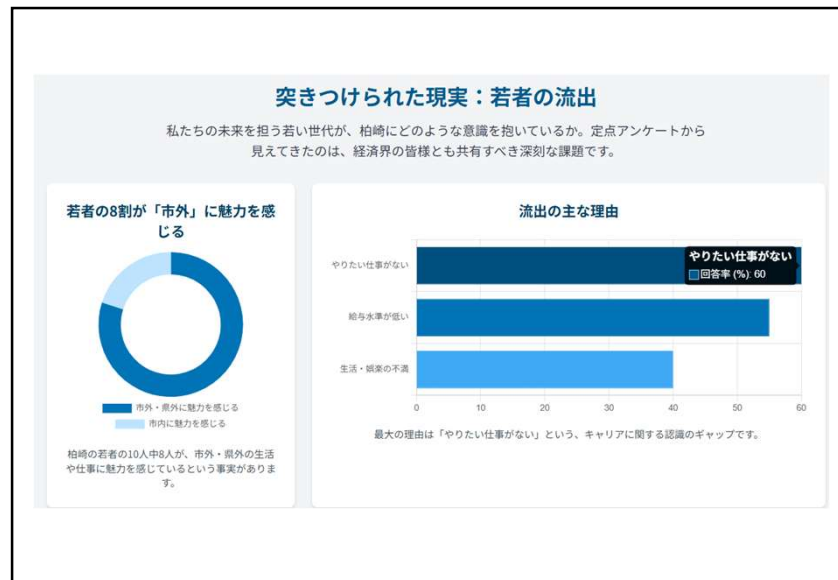
移住施策

27

柏崎市移住マッチングサイト くじらと。



28



29

「若者は『仕事がない』と言っています。」

一本真に、柏崎には魅力的な仕事がないのでしょうか？
これは、私たちと若者の間の「深刻な情報の断絶」を示しているのではないのでしょうか。

30

移住マッチングサイト「くじらと」。仕事紹介記事の作成

■ 掲載総数:30件（昨年度17件）
■ うち今年度取材件数:7件

あなたの「なりたい」を叶える場所へ！～柏崎の老舗美容～

柏崎市に拠点を構える「有明会社美容室 ビージェイ」は、創業37年の歴史を持ち、現在は地域密着型のサロンです。

有明会社美容室 ビージェイ

業界未経験者も手厚くフォロー！～安心して長く働ける職～

今回ご紹介する株式会社美容製作所は、柏崎市内で金型製造を手掛ける創業90年の老舗企業です。「ものづくり」

株式会社美容製作所

柏崎で愛される中華の味と未来を共に創る～90余年の伝～

柏崎の食文化に深く根ざし、地元の人々に愛され続ける「有明会社盛栄軒」は、その長い歴史の中で、伝統の

有明会社盛栄軒

▲パートナーチームメンバーが取材・執筆

▲移住相談の際に企業を紹介

31

移住コンシェルジュ

私たちの対策：「繋ぐ」エコシステムの構築

この「情報の断絶」を解消し、柏崎の魅力正しく内外に伝えるため、私たちはデジタルとヒューマンの両面からアプローチしています。

入口：ポータルサイト「くじらと」

「柏崎の仕事と暮らし」をワンストップで発信するデジタル拠点です。これまで伝わりづらかった市内の魅力的な企業情報や、リアルな移住者の声を掲載し、若者が「やりたい仕事」を見つける「入口」となります。

伴走：「移住コンシェルジュ」

デジタルだけでは解決できない「人との繋がり」を創出します。移住希望者一人ひとりに寄り添い、仕事探しから地域コミュニティの紹介まで、市民の皆様も借りながら「伴走」支援を行います。

32

移住コンシェルジュ 市民を巻き込んだ柏崎市の発信

1. 移住希望者の募集 2. 移住希望者の募集 3. 移住希望者の募集 4. 移住希望者の募集 5. 移住希望者の募集 6. 移住希望者の募集 7. 移住希望者の募集

PRダンボールの設置と配布

220(200) 410(400) 310(300)

33

お試し移住体験ツアーの企画

1. 移住希望者の募集 2. 移住希望者の募集 3. 移住希望者の募集 4. 移住希望者の募集 5. 移住希望者の募集 6. 移住希望者の募集 7. 移住希望者の募集

お試し移住体験ツアーの企画

移住前の人、移住後の人に向けた
オーダーメイドツアーの実施

参加者からの声
・真摯に冷静に対応してくださり、さすがの**団結力！**と感じました。
集落での暮らしをイメージしていたので、**専門分野の移住コンシェルジュと面談ができて非常に参考**になりました。

お試し移住体験ツアー開催件数
今年度 3件・昨年度 1件
(総数 4件)
※今年度は現時点での件数

34

成果と実績

1 情報収集中		2 移住検討中		3 移住確定		4 移住済み		
20		16		13		27		
70	2025/4	F.H.	男性	40代	1ターン	西山町の物件を気に入り、移住検討中。単身、IT関係の仕事をしている。米作りに興味あり。	1 情報収集中	aisa
71	2025/6	N.K.	男性	40代	1ターン	「ふるさと」を感じられる場を提供したい。東京に家族との住居あり。柏崎に祖父母が住んでいた物件あり。2拠点生活を希望。	2 移住検討中	aisa
72	2025/7	A.C.	女性		1ターン	動物にかかわる仕事と、住まいは一戸建てで300万以下、上下水道に接続しており、スーパーまで車で10分以内、積雪1m以下の地域にある物件を探している。	2 移住検討中	枋堀 佳倫
73	2025/8	T.S.	女性			住まいを探している。未定だが近年中に移住予定。できれば一軒家を購入したいが、移住にあたり転職するためローンがくめるか知りたい。	1 情報収集中	aisa

35

定住施策

36

定点アンケートの実施

1. 調査年度と調査対象の範囲 2. 年代別・性別別調査項目 3. 希望・希望以外の職業 4. 希望・希望以外の職業 5. 希望・希望以外の職業 6. 希望・希望以外の職業 7. 希望・希望以外の職業

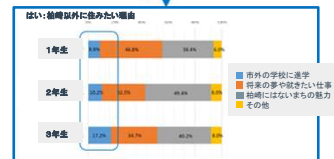
Point①【柏崎以外】6:4【柏崎】

住み続けたいニーズは一定数ある



はい
いいえ

はい



Point② 進学を理由とした市外意識が上昇

Point③ 柏崎でやりたいことができるイメージ

学年を追うごとに減少



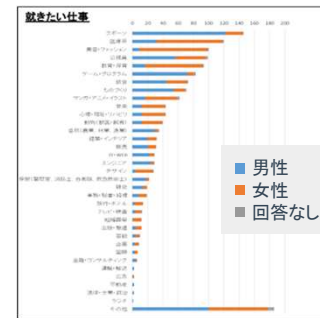
いいえ、柏崎に住みたい理由



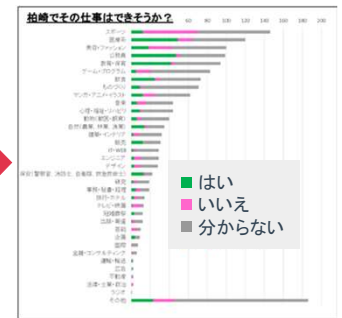
Point④ 戻りたい・戻れるイメージが湧かない

定点アンケートの実施

1. 調査年度と調査対象の範囲 2. 年代別・性別別調査項目 3. 希望・希望以外の職業 4. 希望・希望以外の職業 5. 希望・希望以外の職業 6. 希望・希望以外の職業 7. 希望・希望以外の職業



男性
女性
回答なし



はい
いいえ
分からない

Point⑤ 仕事によっては、やりたいことができない・わからないイメージ強い。
→実は柏崎でも叶う分野は充分にある。「柏崎でできるイメージ」の醸成

37

38

定点アンケートの実施「柏崎市で暮らすことに対するアンケート」傾向

1. 調査年度と調査対象の範囲 2. 年代別・性別別調査項目 3. 希望・希望以外の職業 4. 希望・希望以外の職業 5. 希望・希望以外の職業 6. 希望・希望以外の職業 7. 希望・希望以外の職業

アンケート結果からみる取組の方向性

- 柏崎は「やりたいことができる」まち
- 一度は柏崎を離れても「戻ってこられる・戻ってきて大丈夫」なまち

- ▶定住ユニット施策「総合的な学習のおたすけ窓口」を活用
- ▶「柏崎でも、叶う・働ける・活躍できる」子どもたちに先行事例を見せていく
- ▶「帰る場所、戻ってきていい場所」というイメージの醸成

「このまちに、また戻ってこられる」というイメージづけをすることが重要

39

株式会社ハク

お弁当は、逆に新しい。



代表取締役 中村 奨

1

事業紹介



THERE IS NOEND

2020.3月。野菜ソムリエが地元直売所内でOPEN
カラダと、ココロと、地域が喜ぶお弁当屋。



THERE IS NO2ND

2021.6月。市役所新庁舎の売店として2店舗目をOPEN
柏崎でつくられたものだけを集めたアンテナショップ。



柏崎花火弁当

2023~。ぎおん柏崎まつり 海の大花火大会にて、
有料観覧席で提供される約5,000食のお弁当業務の統括。



Restaurant & Bar パンビー

2024.6月。柏崎駅前の商店街に空き店舗を改装しOPEN
業務委託としてメニュー開発、調理など店舗管理を行う。

2

Q. なぜ、
お弁当屋を開業したのか？

3

開業のアイデア

2019年夏頃（コロナ禍前）
地産地消のちいさなカフェをしていた。



4

開業のアイデア

2019年夏頃（コロナ禍前）
当時、ちいさなカフェをしていたが、

席数や駐車場の台数で
1日の食数が
限定されるのでは？

コンビニ、スーパー、
大手チェーン...
どこで誰が作ってるか
わからない食材。

大好きな近所の食堂が、
出前をやめちゃった。

地元の仕出し割烹は
少し、お高い。

5

開業のアイデア

お弁当なら、全部ひっくり返せるかも？

お弁当なら、
席数や駐車場は関係ない。

地産地消のお弁当を作る。

お弁当を配達しよう。

カジュアルに、
手に取りやすい価格。

6

THERE IS NO END

7

直訳：終わりがなし。＝単なるエネルギー補給で終わらせない。

THERE IS NO END

8

直訳：終わりがなし。＝単なるエネルギー補給で終わらせない。

THERE IS NOEND

発音：そこに農園あり。＝お弁当でも産地が伝わるように。

9

NOENDのお弁当たち。



10

Q.
NOENDにとって、
価値があるとは何か？

11

モットー

価値あるお弁当屋であるためのモットー

代わりがきかない
「自分たちらしさ」

現状 → 未来の
「変化の起点」

12

つまり、
他にはない、新しい選択肢。

13

コンビニ、スーパー、
大手チェーン...
どこで誰が作ってるか
わからない食材。

「おいしく、健康的で、
地域の食材のお弁当」
という選択肢ができた。

ラベルに地産地消率を表記

大好きな近所の食堂が、
出前をやめちゃった。

「お昼ごはんを職場に
配達してもらおう。」
という選択肢ができた。

市内どこでも5個から配達

14

5年が経過し、
たくさんの人の選択肢に
なっている。

15

店頭に並ぶお弁当



16



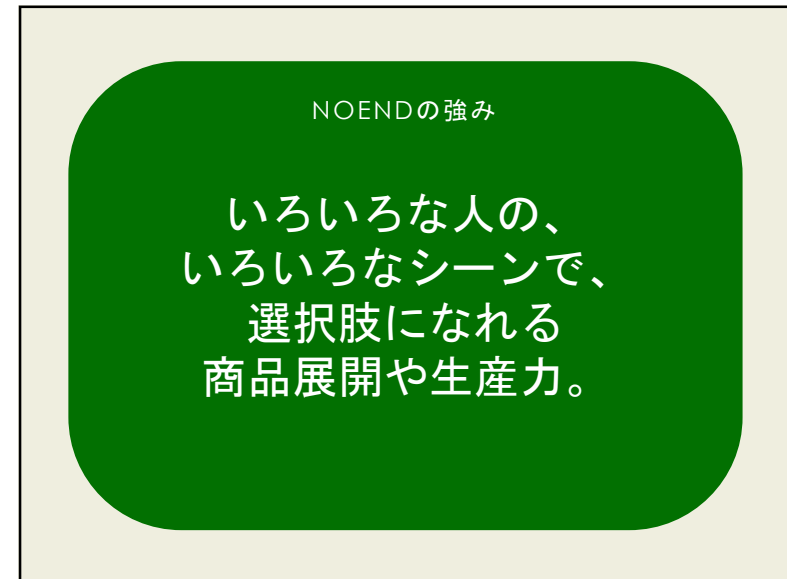
17



18

シリーズ	コンセプト	ターゲット	該当商品
旅するように、味わう新潟 GOHAN TRIP NIIGATA	「地産食材・旬をおいしく。」 新潟県産食材・調味料に着目	観光客・季節感 カジュアルなおもてなし	・ 鮭と野菜の幕の内弁当 ・ 発酵ビビンパ丼 ・ 季節の天丼
心温まる、日本のごはん THE STANDARD 定食	「毎日の基本・バランス定食。」 主菜＋副菜2品＋漬物	日常使い	・ 旨味の塩焼き定食 ・ 照り焼きチキン定食 ・ おろしハンバーグ定食
地域を感じる贅沢な折弁当。 プレミアム幕の内弁当	「地産食材のおもてなし。」	観光客・季節感 法人様・おもてなし	・ プレミアム幕の内
午後も頑張れるおいしい味方 WORK LUNCH	「頑張る人の エネルギーチャージ。」	オフィス・現場ワーカー	・ ロコモコ丼 ・ から揚げ丼 ・ のり塩から揚げ丼 ・ カレーライス ・ タレカツ
親子でたべる食の時間 KID'S & MAMA,PAPA	「たべる楽しみを育む。」	子どもと親世代	・ お子さまランチBOX ・ 鶏そぼろ丼
たべて整う、おいしい美容 HEALTH & BEAUTY	「大人の体づくり。美と健康」	健康志向の女性や 体づくりをする男性	・ ガバオライス ・ 海南鶏飯

19



20

NOENDの強み

「お弁当」というプロダクトの
「1⇒10」「10⇒100」と
積み上げてきた成果

21

さらに、NOENDの強み

いろいろな人の、
いろいろなシーンに、
お届けできる
配達というオプション。

22

さらに、NOENDの強み

「配達サービス」を
単なるサービスではなく
「A⇒Z」のような
オプションと捉える

23

アイデア

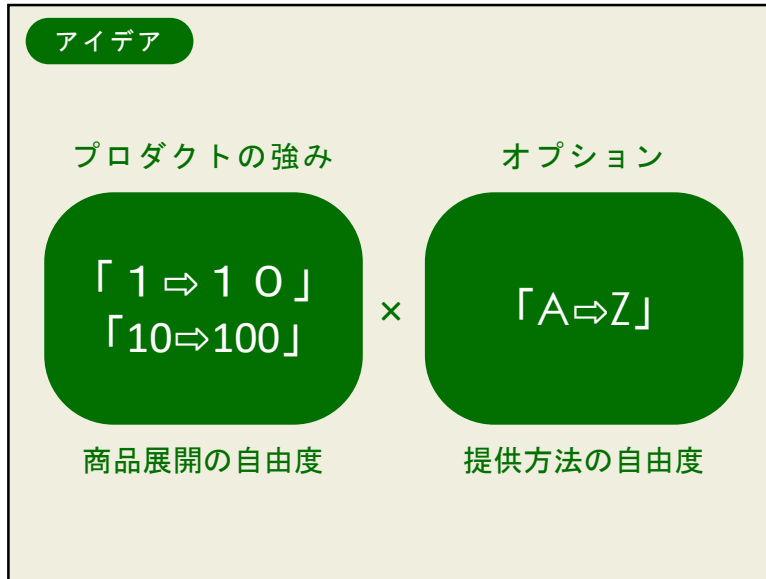
プロダクトの強み

「1⇒10」
「10⇒100」

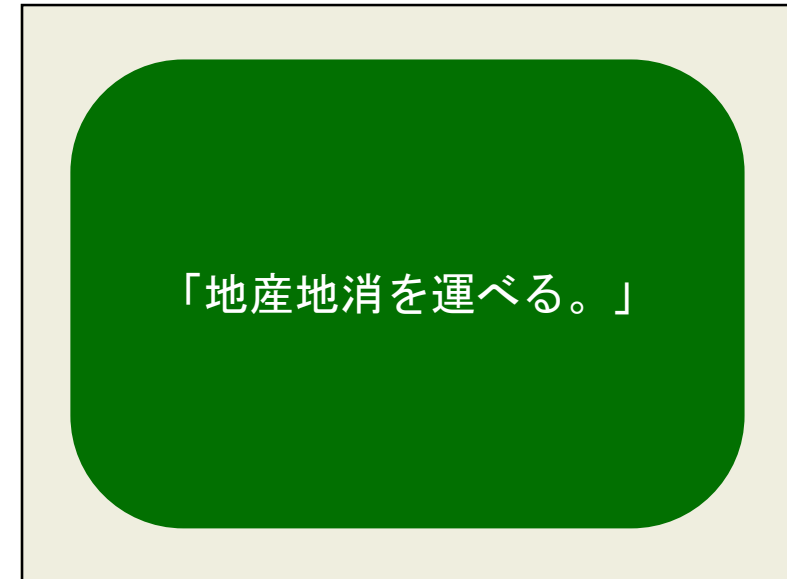
オプション

「A⇒Z」

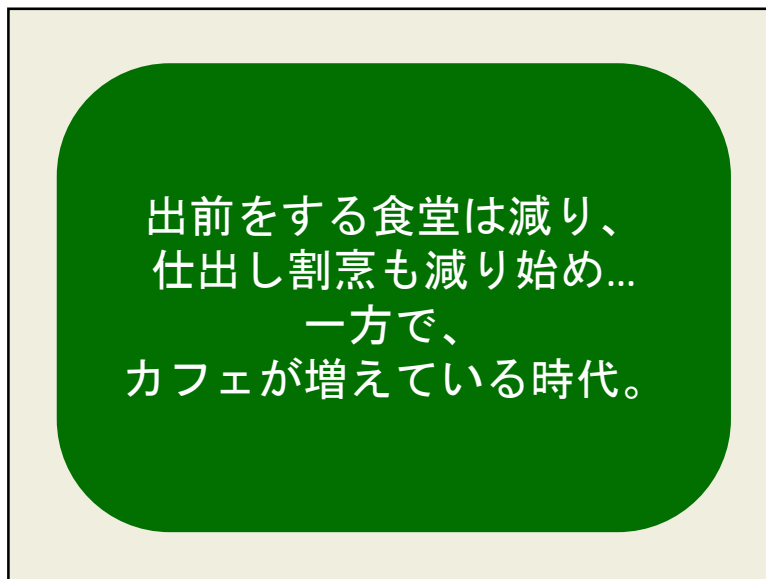
24



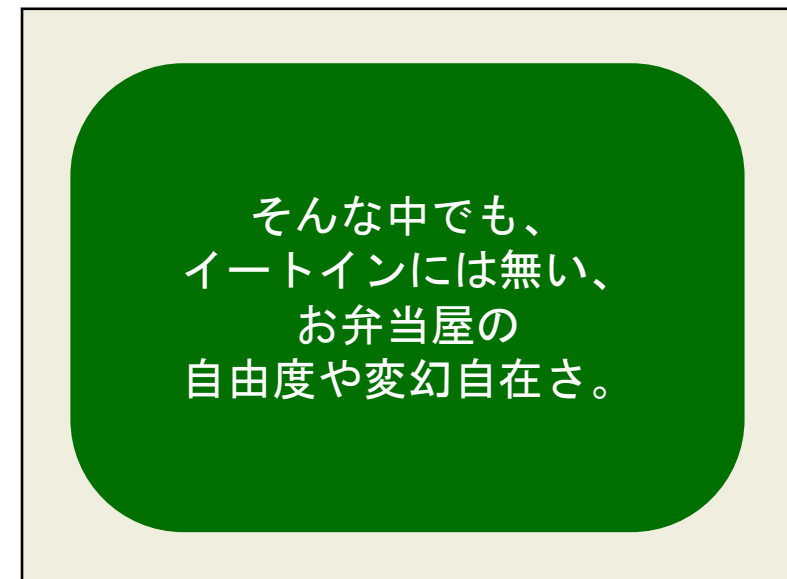
25



26



27



28

配達依頼に応えるだけでなく
イベント出店はもちろん
生活圏の違うエリアに出向く
市外・県外に出向く
観光地に出向くなど、

29

これから、
もっと、ソトへ。

30

いつでも、
どこでも、
だれでも、
お弁当で、
地産地消。

31

お弁当は、逆に新しい。



32

【地域活動の視点】

「人口減少の中でも

幸せ感を育む」を考える

新潟産業大学附属柏崎研究所

主席研究員

春日 俊雄

【はじめに】

いま、地域社会では人口減少・超少子高齢化の進行に伴い、学校統合や交通機関再編、人手不足、日常便益施設の撤退など次々とその影響が表れている。今後さらに深刻さを増す人口減少に行政のみならず地域社会がこの変化に対応し、新たな考えや仕組みを生み出して次世代につながるローカル・イノベーションを進めていくことが重要である。

日々の暮らしや生き方、考え方の大本となる価値観も多様化しながら揺れ動いて、まさに時代が様変わりしつつあり、地域社会を支えて来た従来の組織や仕組みが上手く機能しなくなっている。

しかし、このような先の見えない不安な時代であっても「心豊かに幸せ感を持って愉たしく生きる」ということが特に大事であると考えている。なんといっても一度限りの人生なのだから。

クリエイターの杉本博司氏は

瀬戸内デザイン会議の中で「この年まで世界中を駆け巡りながら自分なりに考えたこととして、日本列島こそ稀有(ひょう)な自然遺産で世界中にこんな島はない」と言っている。またグ

ラフィックデザイナーの原研哉氏は「一千年を超える長期間、日本民族は他の民族と入れ替わることなくさまざまな文化を積み上げてきた」と言っている。

それぞれの地域で自然や歴史・文化をベースにさらに知恵や工夫を重ねてきた暮らしが現在の生活の根底にあり、日本はなかなか大したものだと改めて感じ、世界の中でも「希望の島」の一つだと思っている。

そこで、今の時代にあった地域社会の仕立て直しが求められる。

「仕立て直し」とは、古い衣服を別の衣服に作り替えることである。地域に当てはめると、地域状況の把握や今後のあるべき姿を基に新しい考え方でこれ

からの地域運営の組織や仕組み、実施事業などを作り替えるということになる。なぜ新調ではなく仕立て直しなのかというと、時代が変わってもその地域の根源的な

価値(コアバリュー)は変わらな

いので、それを土台に時代にあっ

たより機能的で情緒的なものに作り替えることである。

地域社会は歴史もあり、人数も多く、複雑なため仕立て直しには、時間と粘り強い取り組みが求められる。

【地域活動の視点】『人口減少が進む中でも幸せ感を育む！』を考える

※いま住んでいる地域を自ら、そして共に耕していく心持ちを！

1. 地域の子カラを示す・魅せる <アウトプット>

(1) 「新しい価値・愉しさ」をつくる (前頭葉の活性化！ドーパミン)

どんな方法で：日常の営みの中で！日々の学びの中で！地域の発展：一人ひとりの豊かさ、満足度の総和！

時間の種類の中から魅力や価値を見いだす (風土・歴史・地域の本質) 学び合う：愉しみ方

(2) 地域内の「ゆるいつながり」をつくる (自分を高める&共生志向：自分ごと一地域ごと一世の中ごと)

どんな方法で：必要に応じて、互いの活動を知る→個々ネットワーク化 (共生社会：ベースは共感、ヨコの人間関係)

共創の可視化で共感による「ゆるいつながり」が生まれる

(3) 地域内の「日常の豊かさ」をつくる (モノ・コト・ココロ中心、個々集団中心)

どんな方法で：①「既存組織の機能アップ：熟年・若者の参画、人口の減少に伴う組織の見直し、改変」

②「住民共創でニューインフラの充実 (食生活・地域内交流拠点・外とつながる拠点・自然との共生・行き場)」

③「美化 (掃除)」

2. 外との「つながり」をつくる <交流人口・関係人口>

どんな方法で：地域の価値・愉しさを介した「コトのつながり」 (課題～センス&オリジナリティ)

効果～「地域における主体的な人的活性化」「共生・支え合いの経済」「共に豊かな生活者」

3. 共に試行！共に実践！する<自分の好きなこと、出来ることを好きな時に>

どんな方法で：トライアンドエラー！ (共感する仲間と共に「愉しさを中心に図る！」)

情報の共有・必要に応じて連携・シンボリズム等の開拓

4. 若い地域人材を応援する「空気・仕組み」をつくる<公・民・学連携>

どんな方法で：「学」の地域探求活動により「問題・課題の発見→課題解決力、主体的学び力、ゆるいつながり力、共感力」を育む

※課題～「地域の良さが伝わる仕組み」「地域で活躍できる知識・スキル・考え方を身に付ける仕組み」

【提案：地域活動の視点】

2024年度も引き続き行政やコミセン、高校、農業、商店街等の関係者との意見交換を行う中で、第四の柱に公・民・学連携による「若い地域人材を応援する空気・仕組みをつくる」を新たに加えて提案している。

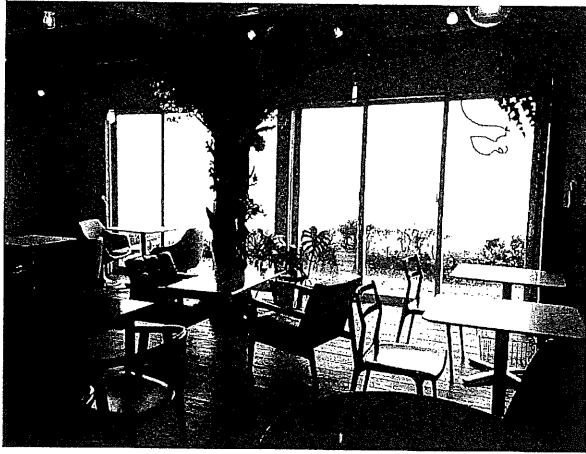
また左の表1(3)の「日常の豊かさ」をつくる方法の一つとして、②住民共創によるニューインフラの充実③美化(掃除・草刈り)を掲げた。

仕立て直しの時代 市内の先進的事例

海カフェドナ

(代表 柘植香織氏・宮川)

宮川海岸の古民家を夫婦でリノベーションして2012年にオープン。自然に寄り添った暮らしと食の提案を行っている。ヒトの精神は人間関係の中で形



成されると共に、風景によって創られると言われている。

青い海に向かって佐渡が見える風景は、花を活(い)けるように柘植氏がまさに活かした海の風景である。心地よい海の風景や波音などの自然を五感で感じられる特別の場だと思う。

古代の人たちが眺めていたであろう、この海と令和の私たちが眺めていたい海は同じによって見いだされ共感を得ている。

看板メニューは心と身体が喜ぶ玄米フレンチ。平日は市内から、土日には新潟市や上越市から大勢のファンが来訪する。

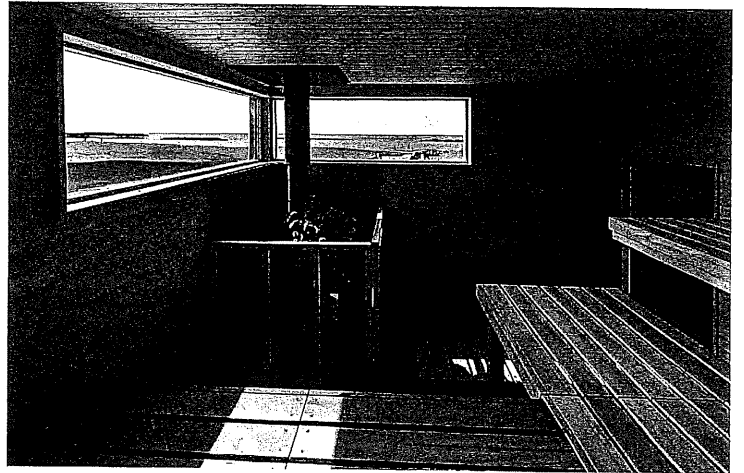
◆ここが凄い！

○ストレスや人間としての心の汚れをリセットすることの価値を創出。①日常の空間から

ちょっと離れる
②心地よい海の風景・波音③楽しい会話④美味しい食べ物⑤ゆったりした時間⑥自然を取り込んだ内部の設(しつら)えによって実現。
○暮らしを豊かにするニューインフラ及び地域内外とのつながり。

サウナ宝来洲

(代表 柘植耕三氏・馬渡)



ウナ宝来洲を通して、さらに海とビーチの魅力を感じ、人々が共感する情緒的価値の最大化を図って県内外から多数の来訪者が繰り返し訪れている。

◆ここが凄い！

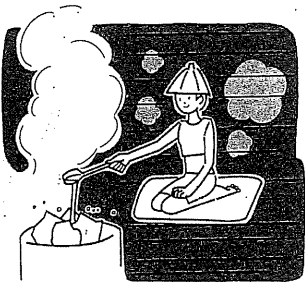
○サウナを介して鯨波全体の魅力を伝

え、インパクトのあるリフレッシュ価値を創出。特に鯨波の海やビーチの多様な情緒的価値を創出。日本海が火照った体を冷やす水風呂になり、屋上のデッキは心地よい風景に浸る場となっている。

○暮らしを豊かにするニューインフラ及び地域内外とのつながり。

2021年にテロワール(フランス語で土地の個性を意味する)の考えを基に新潟らしさを具現化したサウナをオープン。

また、柘植氏はこれまで海水浴場としての鯨波の海がニーズの変化によって年々寂しくなっていく中で「海の新しい愉(たの)しさ」という情緒的な価値(美しい、楽しい、気持ちいいなど)をシーカヤックやパドリング、ビーチバーベキュー、ビーチピクニックなどを通して創出してきた。そして、究極のアウトドアサ



阿部酒造株式会社

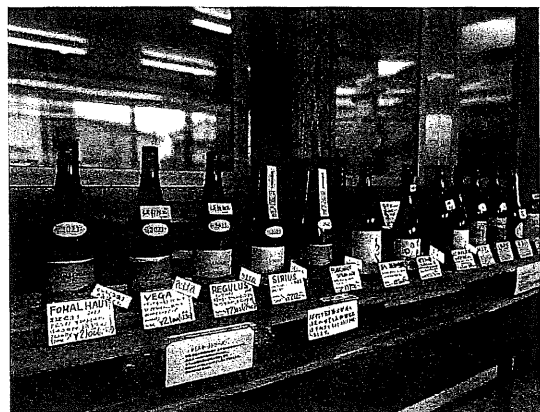
(6代目本製造責任者
阿部裕太氏(左))

2015年から蔵人。新潟県の日本酒は端麗辛口が特徴と言われている中で、業界の常識にとらわれることなく芳醇な味わいの酒造りに取り組んでいる。特に「あべ」シリーズでは米の味を大切に生酛造りで30日かけて

奥行きのある酸味や複雑な味を醸しだしている。また新しい日本酒への挑戦酒と言われている★(スター)シリーズや柏崎と米農家への関心を高め柏崎に足を運んでもらいたいとの思いを込めた圃(ほ)場別シリーズもファンが多く、日本酒の可能性を表現し続けている。

これからの酒造りは四つの理念で裏打ちされている。その理念とは①リストランテの最初から最後まで②常に発酵を楽しむ③「圧倒的に」うまいを目指す④常に挑戦者であれである。

これらに対応して年間70回の仕込みを行う手間暇かけた酒造りに取り組む。



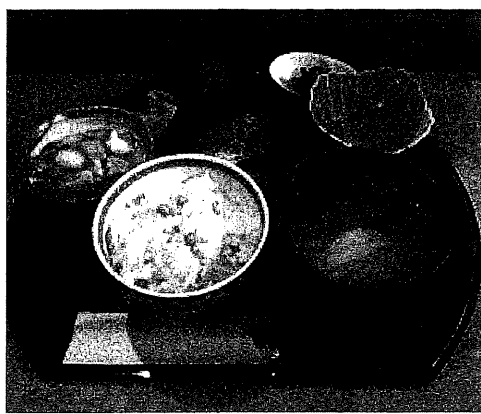
2024では全国17位、県内第1位を獲得している。

◆「こ」が凄い！

○日本酒の可能性を表現し続け、美味(おい)しさ、楽しさを介した外とのコトのつながりとそのセンス&オリジナリティー。○内外のつながり及び暮らしを豊かにするニューインフラ。

海辺のキッチン倶楽部もく

(代表黒崎朝子(笠島))



笠島に皆が集まるお店が欲しいと2017年1月に、築118年の蔵を活かして席数8席の小さなカフェ

を開店。コーヒーが飲めて、気軽に笠島の海藻を食べることが出来る店となっている。笠島の岩のり

は江戸時代から有名で、1月に採れる岩のりを食べてほしいとの思いが込められていた。お店の看板メニューは笠島満喫

ランチで鯛(たい)赤飯、もぞく汁、味付けえび、ブリのあら入りのっぺ、焼魚等々の伝統食である。

週3日(金・土・日)の営業でお客様には目的を持って笠島に来る方と、旅の途中でグルマップを見て来る方がいるとのこと。

今、力を入れているのは、お酒の新茶屋さんとのコラボで笠島もずくと酒かすを組み合わせた「米山三里クッキー」、海藻を食べて成長する「ざざん」を独自に開発した新しい食べ方

「ざざん玉」の販売である。

◆「こ」が凄い！

○里海の未来資源である風土に着目し、その土地に潜存している価値をすくい上げ、それを誇りに思っ、地域内外とつながり他者に提供していくことで、自身の喜びと小さな経済を生み出している。

○暮らしを豊かにするニューインフラ及び地域内外とのつながり並びに自分の好きなこと、出来ることを好きな時に実践。

心豊かな幸せ感
愉しく生きる

株式会社三馬力社

(取締役鈴木良高氏)

日本における馬耕は1955年ごろを境にしてほぼ姿を消したと言われている。その背景には53年に農業機械化促進法(2018年に廃止)の施行がある。そもそも日本の牛馬耕の



菓子工房やしろ

(代表 矢代愛氏 半田)

キツカケは平安朝中期以後に牛馬が「国家・貴族」以外の「豪族や大農」でも所有するようになったことに起因している。

これまで中山間地域では棚田の美しい風景にスポットが当たっていたが、馬耕は①農の楽しさ②伝統文化の新たな価値化③化石燃料を減らす④作土の天地返しによる土壌の再生等々農地の土壌を修復・改善しながら自然環境の回復につなげることを



目指す環境再生型農業としていま注目されている。

「モノを作る」から「価値をつくる」ことの具現化の一

柏崎にはお菓子屋さんが多いと言われている。越後縮布や石油産業、その後の機械金属工業など全国展開にみ

られる経済の活況と併せてお菓子文化が形成されてきたのではないだろうか。

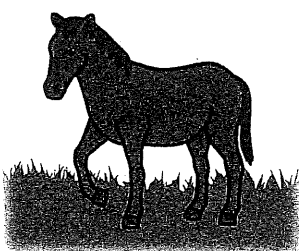
やしろでは旬な素材や地元ならではの素材を積極的に取り入れ、こ

つて言えます。

◆ニニが凄い！

○馬耕・馬搬という、かつて地域にあったものを使って、地域にない新しい価値を創ることで、活きた伝統文化が改めて里山・里山の豊かさを示している。

○新しい価値・愉しさを生み出す。



ケーキ、郊外への移動販売などお菓子文化と家庭をつなぐ活動もしている。

そして、自分らしい人生を刻みながら共創による日常の豊かさを表し、地域の光を魅(み)せる・示すことを行っており、

【まとめ】

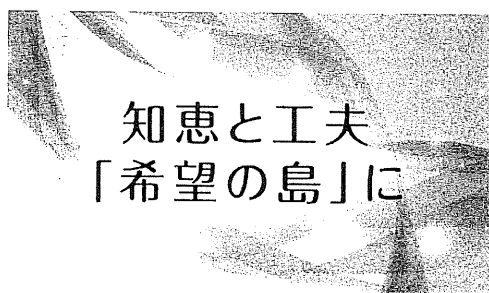
関原剛著「クニ」とは何かの中に、『土地の力に身をゆだね、他者の力を信じ、自分の力を信じ、日常の凡なる暮らしに豊饒(ほうじょう)を感じる』とある。これがあれば、なるべきものに、おのずからなる『一文と共に』それはただ受け身などではない。

地域の風土や文化・歴史を活かした生業が地域内外とのつながりを生み出し「地域の幸せ感」を育むのだと思う。

◆ニニが凄い！

○定番のお菓子メニューに加え、季節の旬な果物や野菜、地域ならではの素材を活かしたお菓子づくりやお菓子と家庭をつなぐ活動をしていること。

○暮らしを豊かにするニユー・インフラ及び地域内外とのつながり。



知恵と工夫「希望の島」に

はない。自在、ということだ。自然にあり、自在であれば、ものごとくは楽しい』そして末尾に『楽しくもない場所に、人が集いはしないのだから』と結んでいる。

共に楽しく自在に、自分ひとりを地域ごとくまぶさ意識して、日々活動を目指したい。